

## 『JIS K 6745:2015「硬質ポリ塩化ビニル板」』改正のポイント

日本プラスチック板協会・塩ビ平板技術委員会は、2013年にJIS原案作成委員会を組織し、JIS K 6745の改正作業を進めてきた。約2年の検討・審議を経て、12月21日に日本規格協会から公示された。

### I・対応ISO 11833-1との整合経緯

JIS K 6745は、2008年の改正において 国際規格ISO 11833-1:2007に整合化させることを主目的に大幅な改正を行った。しかし、ISO 11833-1:2007 に関しては DIN(ドイツ)から、品種や規格値について、改正提案があり、5年の審議を経て2012年に改正された。

### II・今回のJIS K 6745「硬質ポリ塩化ビニル板」の改正審議の趣旨は、次のとおりである。

- a) 対応国際規格であるISO 11833-1がドイツ提案により2012年に改正され、硬質ポリ塩化ビニル板の透明度全光線透過率においてグループ2がクラスA(新設)とクラスB(従来規格値)とに二分された。新設されたクラスAの分類製品は、我が国では流通していないため、この分類を適用外とし、今回は改正を見送った。
- b) 厚さの測定部位についての規定が不適切であったので、修正が必要になった。
- c) その他、技術的見直しを行った。

### III・今回の改正版の主要な改正点は以下の通りである。

- a) 厚さの測定部位(7.3.3の表7)を見直し、適切な部位に変更を行った。
- b) ノッチ付き試験片のシャルピー衝撃強さ(7.4.3)の厚さ規定の明確化を行った。
- c) ビカット軟化温度(7.5.1)の厚さ規定の明確化を行った。
- d) その他本文中の文言の明確化を行った。

以上

(追記) JIS規格の購入をご希望される方は、日本規格協会にお申込下さい。

以下の 日本規格協会のホームページからアクセスできます。

<http://www.jsa.or.jp/store/jis.html>